

2026 年 8 月 18 日

近鉄ケーブルネットワーク株式会社

地域密着の ICT で、学校の熱中症対策を支援
生駒市・天理市の小中学校 23 校に
「WBGT センサーを活用した熱中症対策ソリューション」を導入

近鉄ケーブルネットワーク株式会社（本社：奈良県生駒市、代表取締役社長：福嶋 博、以下「KCN」）は、地域の安全・安心な環境づくりへの貢献の一環として、生駒市立小中学校 19 校および天理市立中学校 4 校の計 23 校に、WBGT（暑さ指数）センサーを活用した「熱中症対策ソリューション」を導入し、運用を開始しました。

近年、夏季を中心に猛暑日が増加し、学校生活における熱中症リスクが高まっています。

本ソリューションでは、児童・生徒が活動するグラウンドと体育館にセンサーを設置し、暑さ指数、気温、湿度、黒球温度を計測します。測定データは専用ダッシュボードに表示され、教職員はパソコンやタブレットで状況をリアルタイムに確認できます。

これにより、屋外活動や体育館利用の継続・中止、休憩の促し、空調利用などの判断を迅速に行える環境を整え、教職員の負担軽減と児童・生徒の安全確保につなげます。

■ 本ソリューション導入の背景と目的

学校現場では、授業や部活動の前に教職員が手持ちの計測器で暑さ指数を測定してきました。一方で、計測の手間や、時間とともに変化する暑熱環境を継続的に把握することが課題となっていました。本ソリューションにより、活動場所ごとの WBGT 値を可視化し、熱中症リスクに応じた判断を迅速化します。

■ 導入システムの特徴

- **WBGT センサー**：各学校のグラウンドと体育館に設置し、暑さ指数、気温、湿度、黒球温度を計測します。設置場所に応じたセンサーを用いることで、児童・生徒の活動環境を継続的に把握できます。

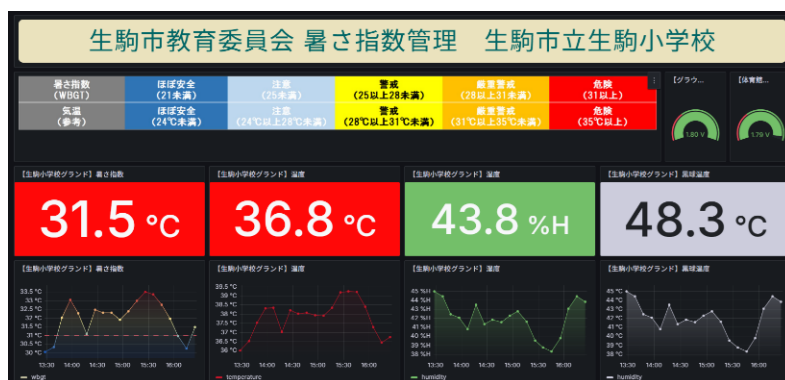
【グラウンド設置センサー】



【体育館設置センサー】



- **専用ダッシュボード:** 10 分間隔で計測したデータを、職員室の PC や教職員のタブレットで確認できます。環境省が定める警戒レベルを色分けして表示し、状況を直感的に把握できるようにします。画面上で推移を確認できるため、活動の継続・中止や休憩の判断に役立ちます。



【ダッシュボード(生駒市小中学校用)】

- **地域密着のサポート:** 地元企業である KCN が、センサー設置、通信ネットワーク構築、導入後の運用保守までをワンストップで支援します。

■ 導入対象校

- 生駒市立 小中学校: 19 校
- 天理市立 中学校: 4 校

■ 今後の展望

KCN は、地域に根ざしたケーブルテレビ・通信事業者として、今後も IoT や ICT 技術を活用し、地域課題の解決に取り組んでまいります。学校現場をはじめ、地域の皆さまが安全・安心に暮らせるまちづくりに貢献してまいります。